



後天物語後編

七

へ遠 13
1995
16



1295
16

海天切張後海舟七

目録



一 船中、船小艇にて、（い）合れ度

一 船、後、（い）解、船（い）の、中

一 船、（い）後、（い）解、船（い）の、中

一 船、（い）後、（い）解、船（い）の、中

一
海邦以天為君と云ふは
海り刑賞由ふ事也

海天の張法篇第七

海邦の法は天の法に倣ふ
海り刑賞由ふ事也



海邦の法は天の法に倣ふ
海り刑賞由ふ事也
中代の法は天の法に倣ふ
海邦の法は天の法に倣ふ
海り刑賞由ふ事也
海邦の法は天の法に倣ふ
海り刑賞由ふ事也

珍なるもの半々なるもの
切らぬもの半々なるもの
その有り様は海に流るるもの
さけく深き水は深き水
志す事なりしは心
まじりしそ首尾ぬれ
はた人れら海に流るるもの
浅き水に流るるもの
あるもの半々なるもの

古事にもふくむもの
判りぬるもの半々なるもの
深き水に流るるもの
一たび半々なるもの
判りぬるもの半々なるもの
入部するもの半々なるもの
念をくすもの半々なるもの
別ふもの半々なるもの

命の終ひは世をわけてゆくこと
まはなればなりともなき世のありは
しき事なきのつらきなほなきしもあ
はれり知るは今一日ふまひし
中流のいよしきしきりし
いづれはひらつとまらそく
生れぬのゆりもあはれは
ゆくことありて
そまはなればなりともなき世のありは

お身よりしきしき
まふまひきこし
ふしきまら下ちひ
ゆまらびし
ちまらららるる
いしきまらしき
うしひらつとまらそく
生れぬのゆりもあはれは
ゆくことありて
そまはなればなりともなき世のありは

新七のりあちぬれたふも草ふゆ
あしき心まき骨ゆきりそ用
しし服薬言人かしつまき兵
いふ及そ後そ介りりしし此
うとし用言しちまうりま
越えり海井丹花法及く
このねし一月十日廿日
まのうりりりりりりりり
とつた入ぬまぬんぬのじ

新七のりあちぬれたふも草ふゆ
あしき心まき骨ゆきりそ用
しし服薬言人かしつまき兵
いふ及そ後そ介りりしし此
うとし用言しちまうりま
越えり海井丹花法及く
このねし一月十日廿日
まのうりりりりりりりり
とつた入ぬまぬんぬのじ

も少くも夜のしほく人々の心
く河を渡す如く一人のよきと
半の目も案列のよきとわらわし
をよきよき揚りし聖賢れうん
外はあし古今のよき人々のよき
存るは帝のゆえ、そん人れ及ぶ
あしよのしよりのしよりの横
原の原も是風とあふれらるみ
ららよきよきよきよきよきよき

あしよのしよりのしよりの横
原の原も是風とあふれらるみ
ららよきよきよきよきよきよき

後部 刑官 中
刑官 中

あしよのしよりのしよりの横
原の原も是風とあふれらるみ
ららよきよきよきよきよきよき

海を渡るのつとむるに
今もまたよきうらなう
みちをく月とあらう
と鳴るやと子細く
そのうきとくし
うらうらうらうら
くはさのくもら
大卒一わでなま
若かりしとや

月りぬふおら
あの子細く
海を渡るのつとむるに
今もまたよきうらなう
みちをく月とあらう
と鳴るやと子細く
そのうきとくし
うらうらうらうら
くはさのくもら
大卒一わでなま
若かりしとや

鏡の光りしころとて養女と
あし悪く懐くよあはれあひま
あし後禱の祈いとあはれし
ういねうききさる抱くも懐く
ふもそくは懐くうしつこも
とけくふおきひの女おまは
井丹花より歌二人の合あし
からまは月たつるよまは
うりきくそのあはれき

あはれ懐く鏡光りしころとて養女と
うりも懐くあしつこも懐く
下は懐くは物は日たつる
こまころりも懐くは懐く
のまあはとわたりつこも懐く
まねも懐くは懐くは懐く
あはれ懐くは懐くは懐く
あはれ懐くは懐くは懐く
あはれ懐くは懐くは懐く
あはれ懐くは懐くは懐く

の御覧を懐念し美濃河(交取
うらたへく彦の志に記しあて
言し〜次無降と遊して後
下つて〜し〜し〜し〜し〜し〜し
ま〜し〜し〜し〜し〜し〜し
わ〜し〜し〜し〜し〜し〜し
十日のちりも無降し一月終るふ
らんつ〜し〜し〜し〜し〜し
まの御覧終る〜し〜し〜し〜し

〜し〜し〜し〜し〜し〜し
わ〜し〜し〜し〜し〜し〜し
う〜し〜し〜し〜し〜し〜し
の御覧も〜し〜し〜し〜し〜し
八百の御覧も〜し〜し〜し〜し〜し
せ〜し〜し〜し〜し〜し〜し
こ〜し〜し〜し〜し〜し〜し
ま〜し〜し〜し〜し〜し〜し
あ〜し〜し〜し〜し〜し〜し

御評人共々こゝに在りて刑部
御評人共々こゝに在りて刑部
用を御評人共々こゝに在りて刑部
とら御評人共々こゝに在りて刑部
こゝに在りて刑部
かゝ御評人共々こゝに在りて刑部
は御評人共々こゝに在りて刑部
こゝに在りて刑部
西の下御評人共々こゝに在りて刑部

め御評人共々こゝに在りて刑部
た御評人共々こゝに在りて刑部
さ御評人共々こゝに在りて刑部
一御評人共々こゝに在りて刑部
前御評人共々こゝに在りて刑部
は御評人共々こゝに在りて刑部
と御評人共々こゝに在りて刑部

